



バスケットはひと時も目が離せないスピーディーな試合展開が魅力。応援も他のスポーツと異なる独特のスタイルで、会場は熱い雰囲気包まれる。

ー今シーズンから、長年チームをけん引してきた志村雄彦さんがゼネラル

### 心強い人材が チームづくりに参戦

実は、長町はミニバスケットも大変盛んな地域なんです。私が生まれた街でもありまして、個人的な思い入れもあります。また、昔ながらの古き良き姿を残しながら、新興都市として新たに作り住む人たちも多いところで、特に、子育て世代に人気がある魅力的なまちなので、古き良き長町と新興都市あすと長町をつなぎ合わせるためのコンテンツづくりに、スポーツが寄与できることがたくさんあると信じて、可能性を探っているところです。

マネージャーとしてチームづくりに参画している伺いました。

現役続行の可能性もあった中で引退を決断し、一緒にチームづくりに参画してくれるのは本当に心強いですし、感謝しています。プレーに関すること、選手のこと、すべて肌感覚で理解している人材が、このチームをどう強くするのかが、ファンの皆さまにも大いに期待していただきたいと思います。

ーリーグ屈指の実績を有する桶谷大氏をヘッドコーチに迎えられましたね。

bjリーグ琉球時代に2度のリーグ優勝を成し遂げ、岩手のヘッドコーチ時代には地区最高勝率を記録するなど、その手腕を誰もが認める桶谷さんを招聘できたことは、非常に大きな力になりました。我がが考えるチームづくりには、どうしても桶谷さんの力が必要と考え、3度にわたってヘッドコーチ就任をお願いに上がりました。それを桶谷さんは「三顧の礼」で僕を迎え入れてくれた」と表現されているのですが、bjリーグの皆さんのクラブから引き合いがある状況で、私たちが諦めずにビジョンや熱意を伝えたことに、桶谷さんは「心を動かされた」と言ってくれました。今シーズンは「グライインド」というスローガンを掲げています。「コッコツと泥臭くやる」という意味の通り、桶谷ヘッドコーチのもと、基本となるプレーをひたむきに行うチームづくりを進めています。

#### 【概要】

### 株式会社仙台89ERS

代表者：代表取締役社長 渡辺 太郎  
創設：2004年5月2日  
事業内容：プロバスケットボールチームの運営と試合等の興行  
所在地：仙台市太白区あすと長町1-4-30 S101  
TEL.022-281-8562  
ホームページ：https://www.89ers.jp

■今月号をご覧の皆さまに仙台89ERSの観戦チケットをプレゼントします。詳しくは今月号に折り込んでいるチラシをご確認ください。

### 一年を通して プロスポーツを満喫

ー最後に当所会員をはじめ、ファンの皆さまにメッセージをお願いします。

これまで野球やサッカーがシーズンオフに入ると「寂しいな」と思っていたら、しゃべった皆さん、今年からは冬に盛り上がるバスケットボールに注目してください。子どもからご年配の方まで、スポーツで一年中、一喜一憂したり、応援したりして楽しみましょう！ぜひ一度、バスケットボールの試合を観にアリーナに来てください。

### 目指すはB1昇格と 盤石な健全経営

ー新体制で迎えた今シーズンへの意気込みと目標をお聞かせください。

一番は、地元から愛される、強いチームになることです。そして野球やサッカーのように、スポーツシティー仙台の盛り上げに寄与できる存在になりたいと思っています。

そのためのチームとしての目標は、一も二もなくB1昇格です。そして5年でB1での優勝を果たしたいと考えていますので、今シーズンはそのベースづくりの期間となります。もちろんB1で戦い続ける強いチームを支えられるだけの経営基盤を築くのも大切な目標です。

私は、この仕事に就く前は楽天野球団で13年にわたってスポーツビジネスに関わらせていただきました。経営に携わるのは今回が初めての経験ですが、ファンの皆さまに喜んでいただくための戦略に関しては、これまでの経験を生かせる場面がたくさんあると思いますので、その点には自信があります。

ーチームを成長、発展させていくために、どのような運営方針をお持ちですか。

私たちの仕事は「新しい価値を創造すること」だと思っています。お客さまのニーズに応えるのは基本で、それだけではなく、ニーズをつくり出さなければならぬ立場であると肝に銘じています。

ています。「満足」ではなく「感動」を提供するために先手を打つ。これが我々の方針です。

バスケットボールのゲームへの集客に関しては、「まずは一度、観ていただくこと」。これが必要だと思っています。と言いますのも、相撲や野球などは、日本人にとって、昔から親しみ、楽しむ文化がありますが、バスケットボールにはそういったステータスがまだ確立されていません。ですから、一人でも多くの方にファンになっていただくためには、草の根的な活動が必要であると認識しています。そのための仕掛けを考え、実行しながら、足を運んでいただいたお客さまに感動していただくサービスをどんどん提供していくと考えているところです。

この点で言うと、仙台・宮城というマーケットに広く呼びかけて多くの方々に来ていただくことが大切ですし、スポンサーも全国から募っています。しかし、私たちは資金面でもまだまだ潤沢とは言えません。ですから、まずはエリアを地元の太白区や長町に絞って、6万人から8万人規模のマーケットで効果的なプロモーションやマーケティングを行っていくことを戦略の柱に据えました。自分たちが本拠地を置く街を、「バスケのまち・長町」にしていくところから始めるという戦略です。こうした考えの下で、商店街などをはじめとするステークホルダーの方々と密に話しながら、局地的な盛り上がりをつくり、その輪をどんどん大きくしていきたいと思っています。

## やがて生まれ来る子供たちのために。

宇宙のオアシス『地球』。ただひとつの、この青い星を守って行かなくてはなりません。大切な人のために、そしてやがて生まれ来る子供たちのために。私たちは、よりよい環境をめざし、考えつづけます。



より良い環境をめざす  
**AOBA** 青葉環境保全  
本社/仙台市若林区蒲町19-1 電話(022)286-3161(代)